

**授業概要**

皆さんの中には、「結局のところ、私たちは遺伝子の、あるいは脳の、操り人形なのでは…」といった疑問について見聞きしたり、あるいは自分自身で考えたことがある人もいます。そうした考え方は、哲学で古くから「決定論」と呼ばれていたものの一種（新形態）だと言えます。能力や性格は例えば遺伝によって「決定」されている、という具合です。

しかし、日常的には私たちは、そのようには事態を捉えず、自分たちが自由意志を持ち、それに基づいて選択を行なっているはずだと考えています。決定論は、「自由意志」とはうまく折り合わないものだと言えます。

この授業では、決定論と自由意志をめぐる問題について、哲学の歴史を振り返りながら検討していきます。その上でさらに、私たちが生きる現代においてもなお形を変えて存在している決定論をどのように捉えていったらよいかについても、講義します。

**授業計画**

第 1 回	イントロダクション
第 2 回	アリストテレス
第 3 回	ストア派とエピクロス派
第 4 回	決定論と目的論の違い
第 5 回	ホッブズ
第 6 回	デカルト
第 7 回	スピノザ、ライプニッツ、ニュートン
第 8 回	ダーウィン
第 9 回	非ダーウィンの進化論と生氣論的生命観
第 10 回	遺伝子による決定論の検討
第 11 回	脳による決定論の検討
第 12 回	宗教信仰の発生の進化論的説明
第 13 回	性格に関する決定論
第 14 回	道徳的責任と自由意志の問題
第 15 回	これまでのまとめ
第 16 回	筆記試験（教場レポート形式）

**到達目標**

- ・哲学史の基本的知識を身に付け、現代に至るまでの連続性を理解することができる。
- ・論理的な文章を書くことができる。

**履修上の注意**

- ・初心者から上級者まで広く受講できる授業です。高校倫理を履修していたかどうかは全く関係ありません。
- ・授業内容についての質問は、基本的に、毎回授業前後に受け付けます。積極的な質問を歓迎します。
- ・各回の内容は、進捗や理解度に応じて変更する可能性があります。

**予習・復習**

- ・毎回の復習は必須です。復習の仕方については、授業でガイダンスします。
- ・予習は必須ではありませんが、関心や余力のある人は、教科書の該当項目を予め読んでもらって構いません。

**評価方法**

- ・平常点（授業への姿勢およびリアクションペーパーの内容の評価）50%
- ・筆記試験（教場レポート形式、その場で提示された課題について論じる。）50%

**テキスト**

- ・教科書名：自由意志の向こう側 決定論をめぐる哲学史（講談社選書メチエ 737）
- ・著者名：木島 泰三
- ・出版社名：講談社
- ・出版年（ISBN）：2020年（978-4065217719）